



2025年 3月14日
第167号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

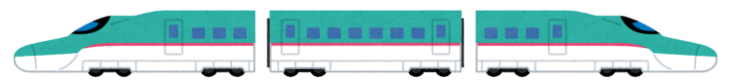
発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

新幹線列車 分離によって、苦勞している営業職場からの

声



会社対応について

現場対応について

●併結運転中止後の発売に関して、周知が行き渡っていないことや1ヶ月後の前売りですら発売保留、異常時での説明が列を長くする要因。

●お客さまから併結運転の内容を知り、記者会見を始めてから社員に対して周知するのはメールのみの企業体質はおかしい。



最前線の私たちが知らずに答えられないのは恥ずかしい。みっともない。

●併結運転再開の情報がなぜ記者会見で知られるのか？まず対応に当たる現場に落とすことが先決では？

●原因が判明するまでは併結しないと発表していたのに、原因がわからないまま機械的鎖状で併結運転再開という結果に安全上疑問が残る。

●前回の事故の際、東労組新幹線協議会が団体交渉で、原因が特定できるまで併結運転を中止するよう主張したのに、労働者の声を受け入れなかった。でも今回は、併結運転を中止にした。東労組の主張が正しかった。

●「何故こんなに混んでいるのにもう一窓を開けないのか！」と怒鳴られた。何人ものお客さまから、一窓しか開いていないことに関して苦情を受けた。人手が足りないのも改めて問題。

●キョンプスの日付け変更ができてても係員の券面証明が必要。人を介さないと対処できない。最後の砦はやはりヒトだ！

●列車分離の影響で列車変更・払戻しに来るお客さまも多くいて、連日混雑している。

●窓口混雑で営業時間を超えて閉めている。

●閉店時間が45分も過ぎたため、休憩時間を削って対応した。

●キョンプスの乗車日変更、3月6日の事故払戻など相当ネガティブな仕事が増えている。

●列車分離が無かったら席が取れていたのに、平日でもキョンプスで指定席が埋まってしまっていて変更出来る列車が見つからず、結局立席で行かねばならなくなり、切符の手配に時間を要した。

●普段とは違う対応が多く、時間も掛かり精神がすり減った。

●併結での運転再開が決まり、分割から直通列車への変更の対応も増えた。JR側の要因でどちらにしてもお客様に二度手間をかけさせるのは大変申し訳ないというので出札の担務担当は精神的に疲弊している。

●連日列車分離の質問や対応で疲れた。

●1窓しかないのにキョンプス対応と更に繁忙期に入り、ジパング・学割・障割など窓口が混んでいる中、利用者からは苦言を言われ精神的に辛い。

●毎日特殊な取扱いが変更となるので、誤取扱いしないように苦勞した。



現場で苦勞している社員への感謝も謝罪も激励もない経営幹部
意見交換では何も解決しない！真の安全をつくり出せるのは東労組だけだ！